

桑折町をフィールドとした政策研究会の成果概要

概要

桑折町の課題

考え方

課題「献上桃の郷」展開プロジェクトとして、
町のイメージアップを図っているが、
多くの素材と施策がうまく発信されていないのではないか？

「桑折町の魅力を効果的に発信していく戦略と手法」
⇒「町のイメージアップと交流人口、関係人口の創出・拡大」を実現する

「町民参加を促し、双方向の情報充実に図っていく効果的・効率的な手法」
⇒「行政情報の時期を的確に捉えた情報発信と広聴機会の充実」を実現する

シティプロモーションの戦略が必要
・効果的なPRの方法とは？
・いかに費用をかけず、効果的なPRを図るか

課題解決の方向性

- ◎ プロモーションによって
共創参画という桑折を担う力を創り出し
- ◎ 桑折を担う力を活用することによって
役場だけの力ではないプロモーションをしていく

桑折に真剣（マジ）になる人を増やし、
この方達にもプロモーションを担ってもらおう

- サービスを要求するだけの人口を増やすのではない。
- たまたま住んでいるだけの、桑折に何の関心もない、行政サービスを要求するだけの人口を増やすのではない。

☆【共創参画】

桑折のありようを考え、行政、地域企業、NPOとともに、桑折をつくろうとする人口を増やす。町民が桑折に積極的に関われば、町民の力で桑折の課題を解決することができる。

☆【プロモーション】

町民が桑折の魅力を創りだす当事者となれば、自分たちが創り上げた桑折の魅力を多くの人々に推奨したくなる。その推奨の力が、桑折内外の人々を動かす。

※ 様々な人々が桑折の公共サービスをよりの確に提供していく ※

桑折町をフィールドとした政策研究会の成果概要

概要

共創参画プロモーションの実施

実践

- ◎ 桑折町民による目指す桑折らしさ（ブランドメッセージ）を創造
《 「地域魅力創造サイクル」を活用 》
- ◎ ブランドメッセージの実現に向けて担う力が結集していく
⇒ 結集した担う力がプロモーション
《 「メテア活用戦略モデル」を活用 》

《ブランドメッセージの創造》

研究会で創造(例示)⇒町民で創造することを推奨します！！

図表 1-1 A班のブランドメッセージ

メインメッセージ
ほっとけないまち、
「ほっともつと！こおり」

サブメッセージ
日本一美味しい桃がある
四季折々の自然がある
重厚な歴史からつながる未来がある
子育てしやすい環境がある
あたたかい地域の絆がある
ほっとかないよ こおりまち

ボディコピー
良質な桃が育まれ生産者の想いがこもった熱いまち
春の桃源郷、夏のホテル、秋の紅葉、冬のイルミネーション
四季を彩る暖かいまち
伊達氏発祥の地、日本三大銀山、旧伊達郡役所、奥州・羽州街道通分から21世紀の道分 桑折JCTへつながる重厚な歴史のあるまち
人と人の絆を育み、居心地の良く、人の優しさを感じる暖かいまち
多様な補助と子育て環境を大切に作る暖かいまち

図表 1-2 B班のブランドメッセージ

メインメッセージ
つまり こおり おいしい

サブメッセージ
子育てのびのび 笑顔たくさん ⇒ おいしい！
人がアツアツ チャンスいっぱい ⇒ おいしい！
桃でドキドキ 出会いたっぷり ⇒ おいしい！
自然もりもり くだものジュシー ⇒ おいしい！
etc

ボディコピー
おいしいものを食べたとき、人は幸せだと感じ笑顔になるでしょう。桑折町には、豊かな自然のなつてのびのびと育つ子どもたち、夢に向かって挑戦し続けるアツアツな人々、桃によって生まれたドキドキするような出会いなど、たくさん笑顔があふれています。今までも、これからも、まちに関わる人が幸せ、つまり“おいしさ”を感じられる桑折町であり続けます。

《ブランドメッセージの実現に向けて、桑折町役場が動き出す》

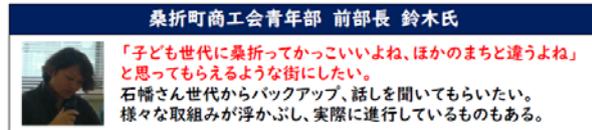
| ターゲット | 目的 | 事業 | 認知獲得メテア | 関心惹起メテア | 着地点整備関連メテア |
|---|---------------------------------------|-------------------------------------|--|--|---|
| 自治体職員OR 農業経営に携わる ことを考えている 首都圏在住大学生 | 移住予備軍 関係人口・ 交流人口の 増加 | こおり ほっとかない ツアー | 桑折町HP Facebook・Instagram 広報誌・大学掲示板 大学イントラ | 大学掲示板 大学イントラ 大学構内ポスター ター・チラシ | 桑折町HP特設ページ ハッシュタグ、インスタ <ツアー実施> |
| 仙台市在住の幼稚園 児の子どもを持つ、 初めての子育てに不 安を抱える女性 | 関係人口・ 交流人口の増加 | 「ほっ」と するまち ももまち 子育て交流会 | 広報誌 ポスター 動画 | ももまち子育て部 Twitter・Instagram 仙台駅構内ポスター 仙台イオン、ポスター | 町HP特設ページ ハッシュタグ、インスタ <交流会実施> |
| 仙台圏在住の 農家出身ではないが 農地を求めている 20~40代の男女家族 | 新規就農者確保 桑折町人口増加 耕作放棄地解消 | 「ほっ」と もつと！ 桑折まるごと 農業体験 | 桑折町HP・広報誌 Facebook Instagram ポスター・チラシ | 桑折町・県の 「HP、フェイスブック、 インスタ」 農業相談会の開催 | 桑折町HP、若い 農業参入者の記事 やコメント 農業インターン シップ |
| 首都圏在住の 独立して店舗を持ち たい人かつ田舎暮らし にあこがれている 30~40代女性 | 桑折の美味しい 食材の周知& 就農・起業 チャンスを周知 | Momo・ グランプリ！！ 「もも料理 コンテスト」 | 桑折町HP 駅ナカビルポスター アンテナショップ | ・桃販売会の開催 ・マルシェ、オーガニック マーケットなどへ参加 ・スーパーなど広告 ・飲食雑誌への掲載など | ・チームTKOHPリ ンク先商工会HP Instagram ・週末店舗経営体 験・収穫体験 |
| 静かな環境で子育て をし、現在住地で仕 事を続けたい福島市 ・仙台市子育て世帯 | 子育て しやすい町との 関心を高める | 桃畑でおしゃれに ピクニック！！ | ままばれ（月一、宮城 と山形で発信している 子育て世帯向けフリー ペーパーとwebサイト） ・ふくらボ！イントラ | インスタ、 ままばれ、 ままばれwebサ イト、ふくらボ！ | おしゃピク専用ページ 移住定住特設サイトの 子育て特集ページヘア クセス |

《 ☆ 研究員が考える役場の企画による事業（実施に当たっては、多様な主体と連携協力） 》

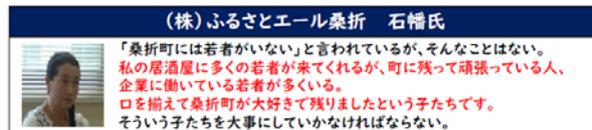
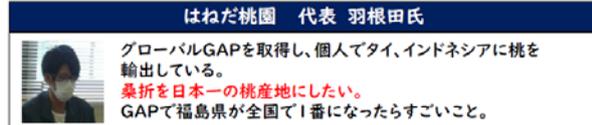
桑折町をフィールドとした政策研究会の成果概要

《ブランドメッセージの実現に向けて、多様な主体も動き出す》

◎ 桑折町には、桑折をより良くしようと真剣に取り組んでいる「人」がいます。



◎ 桑折に住む人、通う人には、桑折に関わりたい気持ちがあっても、参加できていない人、どう関わっていいのかわからない人、が多くいます。



◎ 桑折の課題を解決するために必要な知恵や力が眠っています。

ブランドメッセージの実現に向けて結束

- 桑折に関わっていない人に桑折の課題解決に参画するよう呼び掛けても、参加しづらい。
- ☆ 町民の関心が高いテーマを様々な設定した対話の場を事務局（当初は役場、やがて（仮称）桑折町プロモーションセンターにシフト）が継続的に開催し、町民らが自分の興味があるものに参加できるようにする。
- ☆ 関心が高いテーマの設定は、「（仮称）桑折町民トライアルサポートセンター」や「シティプロモーションアイデア貯金箱」その他アンケート調査等において住民から寄せられた内容を基に行う。
- ☆ 対話の場において、参加者同士で桑折の課題の発見や理解を深めていくことを通じて、桑折への関心を高め、積極的な関わり意欲の醸成と行動促進を喚起する。
- ☆ 行動促進に必要な知識や技術の習得講座を設けるとともに、活動実践を通して、出会い、つながり、お互いからの学びなどにより、桑折の課題や深いニーズと自分のできることに気付き、みんなの力を借りて共に継続できる仕組み・事業を生み出す。

（対話から始まるステップアップ）によりソフトなインフラが整備される

- ◎ 桑折には、課題意識のある人、想いのある人、技術のある人、場所を持つ人、ネットワークのある人など様々な持っているものがある。企業、既存のNPOなどの機関もある。対話から始まりステップアップ。町民が自ら結びつけ「桑折」にマジになる力が生まれる。地域を支えていく土台、桑折にソフトなインフラが整備される。

結束を維持発展させる組織として、多様な主体の職員等で運営する「（仮称）桑折町シティプロモーションセンター」を設置する

桑折町をフィールドとした政策研究会の成果概要

概要

心の変容と行動ありようにて評価

評価・効果

プロモーションは、ターゲットの心の変容と行動を促すために行う
⇒ 心が変容したか……………施策実施前後に計測
⇒ 行動に移行したか……………設定成果指標にて計測

心の変容は、3つの意欲の変化で計測

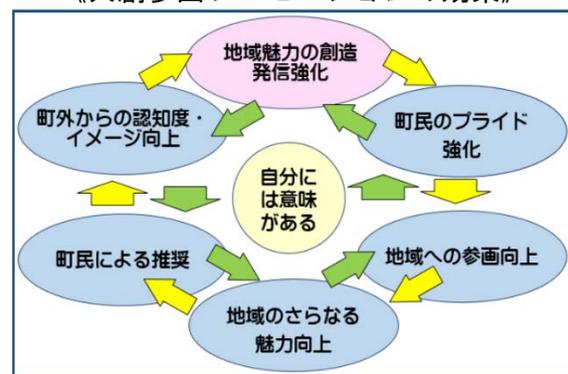
- ① 桑折町の魅力を推奨する意欲(推奨意欲)
- ② 地域活動へ参画する意欲(参画意欲)
- ③ 地域で活動する人への感謝する意欲(感謝意欲)

取組みの効果

- ☆☆☆ 桑折の町にじっくりする人をまず明確にした上でじっくりする人に向けて桑折の魅力を積極的に発信するようになります。 ☆☆☆
- ☆☆☆ 桑折の町にじっくりする人を明確にする過程で、桑折町民の参画を前提にすることから、町民の参画が促進されます。 ☆☆☆
- ☆☆☆ また、ブランドメッセージの実現に向けた取組みの中で、町民の関心が高いテーマを様々に設定した対話の場を設けることから、時宜に応じた双方向間での情報受発信を効果的・効率的に行う事ができるようになります。 ☆☆☆

《共創参画プロモーションの効果》

- ◎多様な主体が桑折の魅力を積極的に創造し発信を強化する。
- ◎それによって、暮らしの満足感や幸福感が高まり、私がこの町に関わっているというプライドが生まれる。
- ◎そのプライドがあるから、まちに関わる。
- ◎桑折の町に積極的に関わる人がいればこの「まち」がさらに良くなる。
- ◎さらに良くなると人に対して「いい町」と自分たちで言いたくなる。



出典：東海大学河井孝仁教授による桑折町での基調講演のスライドを一部加工

- ◎「いい町」と言いたくなり、積極的に外に対して発信すれば、町外からの認知度・イメージが向上する。
- ◎町外からの認知度・イメージが向上すれば、これが逆転を始めて、外から最近、誉められている。⇒なので、もっといい町にしくっちゃ⇒ぐるぐる回っているうちに、私が関わったからこの桑折がいい町になって来たんだと思ってもらえるようになる(自分には意味がある)。